



金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

昭和48年（1973）にゼロ災害全員参加運動（ゼロ災運動）は、中央労働災害防止協会が、アメリカの全米安全評議会（NSC）の「Zero in on safety」（安全に照準を合わせよ）というキャンペーンの考え方を取り入れ、スタートしました。それから半世紀が過ぎ、多くの会社が創意工夫と弛みない努力で無災害記録を作り続けています。もしも事故が起きたら猛省して、またやり始めるリスタートの勇気が無災害記録をつくります。



【ゼロの原則】

死亡災害・休業災害がなければよいというだけではなく、職場や作業に潜むすべての危険を発見・把握・解決し、根底から労働災害をゼロにしてゆきます。

【先取りの原則】

究極の目標としてゼロ災害・ゼロ疾病の職場を実現するため、事故・災害が起こる前に、職場や作業にひそむ危険の芽を摘み取り、安全と健康を先取りします。

【参加の原則】

職場や作業にひそむ危険を発見・把握・解決するため、全員が一致協力してそれぞれの立場・持ち場で自主的、自発的にヤル気で問題解決行動を実践します。

【トップの経営姿勢】

安全衛生は、トップのゼロ災害への思いから始まる。「働く人一人ひとりが大事だ」、「一人もケガ人は出さない」という人間尊重の決意から運動は出発します。

【ライン管理の徹底】

安全衛生を推進するには、管理監督者（ライン）が作業の中に安全衛生を一体に組み込んで率先垂範して実践する「ラインによる安全衛生管理」が不可欠です。

【職場自主活動の活発化】

一人ひとりが危ないことを危ないと気付き、自主的、自発的にヤル気で安全な行動をするような実践活動が、職場の日々の安全を確保します。



金沢労働基準協会「令和ゼロ災プロジェクト」にご協力ください。

- 【1】安全衛生活動アンケートに回答をお願いします。
- 【2】中小企業無災害記録証授与制度の活用をお願いします。
- 【3】全国安全週間・全国労働衛生週間の行事に取り組みましょう。
- 【4】全国安全週間・全国労働衛生週間の表彰事業場を自薦他薦しましょう。
- 【5】安全衛生出前講座と安全衛生業務担当者研修を受講しましょう。
- 【6】金沢地区の労働災害発生状況の集計分析等の安全衛生情報の提供
- 【7】金沢地区の労働災害防止運動
「4つのないか運動」に取り組みましょう。
「二次健康診断受けよう運動」に取り組みましょう。



金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト実施要綱

1. 趣 旨

中央労働災害防止協会がゼロ災害全員参加運動（ゼロ災運動）を始めて半世紀が過ぎた令和の時代にも「安全第一」の企業活動による安全職場を実現し、労働災害ゼロを地域ぐるみで実現しようとするものです。

2. 安全衛生活動アンケート送付

全国安全週間と全国労働衛生週間などの機会に、各事業場の安全衛生自主活動の実施状況を把握する自主点検表を会員事業場及び協力団体から参加事業場に送付し、集計します。

3. 中小企業無災害記録証授与制度の活用促進

まず、毎月の無災害日数を記録することを推奨します。次に、毎月の無災害日数の累計が基準に達したら、協会に「中小企業無災害記録証」授与を申請することを援助します。無災害記録を達成した受賞企業を協会だよりや協会ホームページで紹介しその実績を讃えます。

4. 全国安全週間・全国労働衛生週間の取組

全国安全週間と全国労働衛生週間の準備期間中の取組として、会員へのポスター壁新聞の配布、協力団体への中災防用品カタログ配布、事業場への部会委員訪問指導などを行います。

5. 全国安全週間・全国労働衛生週間の表彰推薦

安全衛生活動自主点検と事業場訪問指導で確認された安全衛生管理の優良事業場を金沢労働基準協会会長賞、石川県労働基準協会連合会の会長賞に推薦する。

6. 安全衛生出前講座と安全衛生業務担当者研修の実施（金沢労働基準監督署との共催事業）

「安全専一百年の軌跡」の講座による安全衛生自主活動の啓蒙と「安全衛生推進者養成講習」、「改正法令説明会」、「テーマ別の労働安全衛生研修会・説明会」により安全衛生法令の基礎知識や最近の情報を学ぶ講習会を開催します。

7. 金沢地区の労働災害発生状況の集計分析等の安全衛生情報の提供

金沢労働基準監督署から金沢地区の労働災害発生状況や定期健康診断実施状況の集計分析、などの情報提供を受けて、アンケート結果などとともに安全衛生情報の提供を充実させます。

8. 金沢地区の労働災害防止運動の展開

金沢労働基準監督署から金沢地区の労働災害情報提供を受けて、第14次労働災害防止計画の目標達成に必要な労働災害防止運動として「4つのないか運動」や「二次健康診断を受けよう運動」を展開します。

9. 金沢地区の安全衛生業務担当者のネットワーク構築

金沢地区の事業場の安全衛生業務の窓口となる担当者のメールアドレスを登録し、これにより、協会から各事業場へ金沢労働基準監督署や石川労働局からの行政情報や中央労働災害防止協会の安全衛生情報、研修会開催案内、web会議開催などの情報を提供します。



金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

安全衛生自主活動のアンケート

全国安全週間と全国労働衛生週間の安全衛生自主活動の実施状況を把握するアンケートを会員事業場と協力団体の傘下事業場においても安全衛生活動の取組状況把握を促進します。

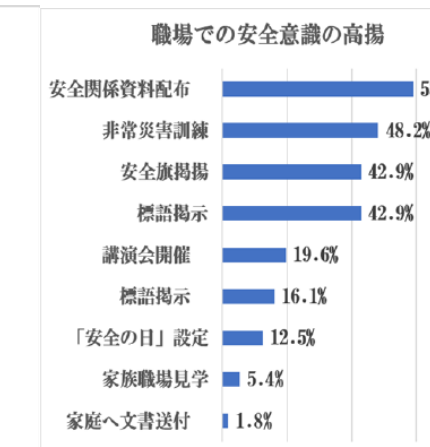
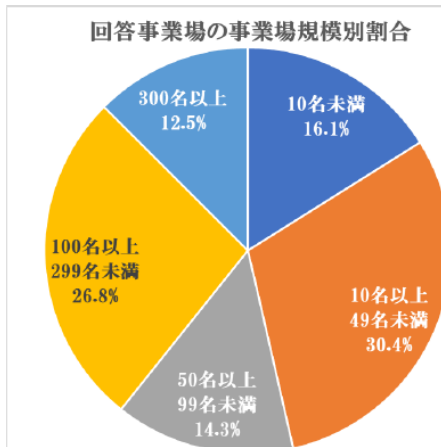
年度	対象団体	配付数
令和2年度衛生週間	金沢衛生管理者研究会	120社
令和3年度安全週間 令和3年衛生週間 新型コロナウイルス	金沢労働基準協会、安原工業団地協同組合 津幡町商工会、	1100社 1100社 860社
令和4年安全週間 令和4年衛生週間	金沢労働基準協会、安原工業団地協同組合 津幡町商工会、北陸電気工事協力会	1188社
令和5年安全週間 令和5年衛生週間	金沢労働基準協会、安原工業団地協同組合 津幡町商工会、北陸電気工事協力会	1135社

FAX076- あて
工業的職種 全国安全週間アンケートFAX回答票
(安全管理者兼任業務のうちの製造業等の工業的職種を対象です。規模は問いません。)

会社名称	電話番号
会社の所在地	担当者氏名
重点事項	あなたの会社で実施している事項を□にチェックを入れて下さい。
経営トップによる安全所信表明	安全大会等の表明 □ 社内報掲載 □ ホームページ掲載 □ トップの標準挨拶 安全メトリック掲載 □ その他(別紙の上より)
職場での安全意識の高揚	安全情報掲載 □ 標語掲示 □ 訓練動画等 □ 安全情報資料配布 □ 非常災害訓練 訓練マニュアル配布 □ 家族見学会 □ 「安全の日」設定 □ その他(別紙の上より)
安全衛生管理体制の確立	年間安全衛生計画策定 □ 安全衛生情報発信 □ 安全作業マニュアル整備 作業実施者リスト □ 安全管理者選任 □ 安全衛生推進者選任 □ 安全衛生委員会の設置運営 作業責任者選任表示 □ 安全衛生推進者報告 □ 労働安全衛生マネジメントシステム導入 □ その他(別紙の上より)
安全衛生教育の推進	安全衛生教育実施計画 □ 階層別安全教育計画 □ 導入研修教育 □ 日本労働者教育 職長教育 □ 災害事例活用教育 □ 作業マニュアル活用教育 □ 視覚教材の活用 □ その他(別紙の上より)
自主的な安全衛生活動	職場研修 □ キヨボ活動(整理、整頓、清掃、検点) □ RY(危険予知)訓練 安全のJ.T □ サイバーハット活動 □ 階層別研修活動 □ TBM(Think Before You Start) □ その他(別紙の上より)
リスクアセスメントRAの実施	作業工程ごとのRA □ 機械設備ごとのRA □ 労働災害の分析及び再発防止RA 3D RA(安全データシート)検討 □ 化学物質RAの実施 □ リスクアセスメント担当部署 □ リスクアセスメントの高度化(半日)の活用 □ その他(別紙の上より)
機械設備の安全対策	リスクアセスメントの実施 □ ロボット安全の危険箇所対策 □ 機械駆動部の危険箇所対策 機械の危険部分についてチェックリスト □ 機械別安全チェックリスト □ 作業開始前点検 □ 機械運転安全の活用 □ 高齢者施設設備更新計画 □ 喫煙先検出付けた点検補修計画 □ その他(別紙の上より)
建築転倒災害防止対策	開口部の建築転倒防止措置 □ 建築危険箇所マップ □ 建築危険箇所の検査 □ 開口部の安全確保 □ 開口部の安全点検 □ アルファートン型建築転倒防止用器具の導入 □ アルファートン作業者の特別教育実施 □ その他(別紙の上より)
転倒災害防止対策	作業姿勢の改善(中品の解部) □ 通路の確保の確保 □ 転倒危険箇所の表示 □ フロップ・傾斜の改善(止り止め設置 □ 転倒危険の「見える化」) □ 転倒危険箇所の活用 □ 転倒防止のための適切な履物の選定 □ その他(別紙の上より)
搬送作業の災害防止対策	フォークリフトの運転者教育 □ 特定主働直前直後 □ 10分以内の運転計画作成 □ コンベアの非常停止装置点検 □ ロールバック作業の安全確保 □ 倉庫の点検 □ シンペーター点検 □ フォークレインの点検検査 □ 互害等の点検 □ その他(別紙の上より)
交通労働災害防止対策	交通安全週間啓発 □ 車両の走行計画作成 □ 飲酒の影響や睡眠時間の教育 □ 交通安全教育実施 □ 交通安全情報マップ作成 □ 危険箇所に関する危険開始点検 □ 危険予知の活用 □ その他(別紙の上より)
高齢労働者労働災害防止対策	高齢労働者に対するリスクアセスメント □ 高齢労働者研修(視力検査)補助、設備の導入 □ 高齢労働者の健康体力状況チェックリスト □ ゆとりのある作業スピード等の作業管理 □ 安全意識教育 □ 作業のしやすさ向上 □ その他(別紙の上より)
外国人労働者労働災害防止対策	日本語研修を併用した安全衛生教育 □ 視覚教材を活用した安全衛生教育 □ 作業場内に外国人労働者の安全確保係 □ 視覚教材活用による □ その他(別紙の上より) □ 作業現場での外国人労働者の安全確保 □ 関係事業者との安全衛生推進員への派遣参加 □ 関係事業者に対する安全衛生教育 □ その他(別紙の上より)
被災者相談状況(休業1日以上)	年以内の災害の有無 有・無 【最終労働災害発生日】 年 月 日
期間平均10名以上100名未満	業種・事業内容 業種 事業内容 方司 会社従業員 名 事業場規模 労働者数 名(パート、アルバイト含む)

FAX076-224-2554 金沢労働基準協会あて
全国労働衛生週間アンケートFAX回答票

会社名称	業種
会社の所在地	労働者数
重点事項	電話番号
あなたの会社で実施している事項を□にチェックを入れて下さい。	担当者氏名
経営トップによる安全所信表明	安全大会等の表明 □ 社内報掲載 □ ホームページ掲載 □ トップの標準挨拶 安全メトリック掲載 □ その他(別紙の上より)
職場での安全意識の高揚	安全情報掲載 □ 標語掲示 □ 訓練動画等 □ 安全情報資料配布 □ 非常災害訓練 訓練マニュアル配布 □ 家族見学会 □ 「安全の日」設定 □ その他(別紙の上より)
安全衛生管理体制の確立	年間安全衛生計画策定 □ 安全衛生情報発信 □ 安全作業マニュアル整備 作業実施者リスト □ 安全管理者選任 □ 安全衛生推進者選任 □ 安全衛生委員会の設置運営 作業責任者選任表示 □ 安全衛生推進者報告 □ 労働安全衛生マネジメントシステム導入 □ その他(別紙の上より)
安全衛生教育の推進	安全衛生教育実施計画 □ 階層別安全教育計画 □ 導入研修教育 □ 日本労働者教育 職長教育 □ 災害事例活用教育 □ 作業マニュアル活用教育 □ 視覚教材の活用 □ その他(別紙の上より)
自主的な安全衛生活動	職場研修 □ キヨボ活動(整理、整頓、清掃、検点) □ RY(危険予知)訓練 安全のJ.T □ サイバーハット活動 □ 階層別研修活動 □ TBM(Think Before You Start) □ その他(別紙の上より)
リスクアセスメントRAの実施	作業工程ごとのRA □ 機械設備ごとのRA □ 労働災害の分析及び再発防止RA 3D RA(安全データシート)検討 □ 化学物質RAの実施 □ リスクアセスメント担当部署 □ リスクアセスメントの高度化(半日)の活用 □ その他(別紙の上より)
機械設備の安全対策	リスクアセスメントの実施 □ ロボット安全の危険箇所対策 □ 機械駆動部の危険箇所対策 機械の危険部分についてチェックリスト □ 機械別安全チェックリスト □ 作業開始前点検 □ 機械運転安全の活用 □ 高齢者施設設備更新計画 □ 喫煙先検出付けた点検補修計画 □ その他(別紙の上より)
建築転倒災害防止対策	開口部の建築転倒防止措置 □ 建築危険箇所マップ □ 建築危険箇所の検査 □ 開口部の安全確保 □ 開口部の安全点検 □ アルファートン型建築転倒防止用器具の導入 □ アルファートン作業者の特別教育実施 □ その他(別紙の上より)
転倒災害防止対策	作業姿勢の改善(中品の解部) □ 通路の確保の確保 □ 転倒危険箇所の表示 □ フロップ・傾斜の改善(止り止め設置 □ 転倒危険の「見える化」) □ 転倒危険箇所の活用 □ 転倒防止のための適切な履物の選定 □ その他(別紙の上より)
搬送作業の災害防止対策	フォークリフトの運転者教育 □ 特定主働直前直後 □ 10分以内の運転計画作成 □ コンベアの非常停止装置点検 □ ロールバック作業の安全確保 □ 倉庫の点検 □ シンペーター点検 □ フォークレインの点検検査 □ 互害等の点検 □ その他(別紙の上より)
交通労働災害防止対策	交通安全週間啓発 □ 車両の走行計画作成 □ 飲酒の影響や睡眠時間の教育 □ 交通安全教育実施 □ 交通安全情報マップ作成 □ 危険箇所に関する危険開始点検 □ 危険予知の活用 □ その他(別紙の上より)
高齢労働者労働災害防止対策	高齢労働者に対するリスクアセスメント □ 高齢労働者研修(視力検査)補助、設備の導入 □ 高齢労働者の健康体力状況チェックリスト □ ゆとりのある作業スピード等の作業管理 □ 安全意識教育 □ 作業のしやすさ向上 □ その他(別紙の上より)
外国人労働者労働災害防止対策	日本語研修を併用した安全衛生教育 □ 視覚教材を活用した安全衛生教育 □ 作業場内に外国人労働者の安全確保係 □ 視覚教材活用による □ その他(別紙の上より) □ 作業現場での外国人労働者の安全確保 □ 関係事業者との安全衛生推進員への派遣参加 □ 関係事業者に対する安全衛生教育 □ その他(別紙の上より)
被災者相談状況(休業1日以上)	年以内の災害の有無 有・無 【最終労働災害発生日】 年 月 日
期間平均10名以上100名未満	業種・事業内容 業種 事業内容 方司 会社従業員 名 事業場規模 労働者数 名(パート、アルバイト含む)



全国安全週間での非常災害避難訓練実施事業場の割合は48.2%と半数近いですが、全国労働衛生週間での非常災害救護訓練は14.3%と7社に1社です。



金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

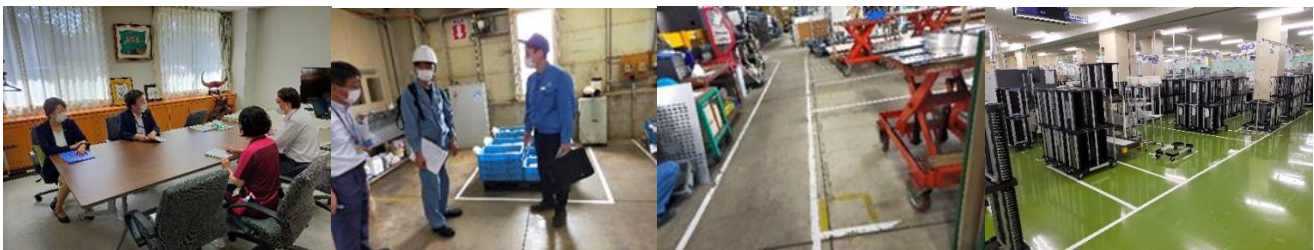
全国安全週間・全国労働衛生週間の事業場訪問指導

全国安全週間と全国労働衛生週間の週間中に会員事業場と週間協力団体から推薦の優良事業場を安全部会と衛生部会の委員が訪問し、訪問事業場の安全衛生担当者との意見交換の場で、改善できる点を指導します。

【優良活動例】2次健康診断費用の会社負担、作業責任者からのヒヤリハット朝礼報告など

【改善指導例】中二階荷下ろし口の墜落防止対策・安全衛生推進者の選任など

全国安全衛生週間 団体別訪問事業場数	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	安全	衛生	安全	衛生	安全	衛生	安全	衛生	安全	衛生	安全	衛生
野々市市商工会	2社				1社						1社	
かほく市商工会			1社	1社	1社	2社	1社	1社	1社			
津幡町商工会	1社				1社	2社			1社	2社	1社	
鶴来商工会						2社					1社	
金沢商工会議所					2社	2社			2社			1社
白山商工会議所					1社				1社			
美川商工会	2社		2社		2社		2社	2社	2社		1社	1社
金沢商工会議所											2社	
西金沢地区工業会					1社							
旭丘団地協同組合			1社				1社	1社	1社		1社	
安原工業団地協同組合					2社				3社		1社	1社
金沢労働基準協会ほか	2社	3社	2社		2社		2社	2社	3社	4社		2社
合計	7社	3社	6社	1社	13社	8社	6社	6社	14社	6社	8社	5社



各社とも事業場全般に整理整頓、清掃が行き届いた3S 職場でした。工具や治具の整理棚に工夫を凝らした事例がいくつも見受けられました。床面をスィーパーで毎日随時清掃している鋳物工場もありました。工作機械からの金属くず。粉じん、廃油は機械内で処理され、排出される機械も多くなっています。木工機の木くずもダクトと排風機で排出され、木工場なのに木くず一つない工場になっています。物の置き方でいろいろ工夫があるものだと感心する声もありました。5S運動の取組をしているところもありました。



トップの安全衛生に対する意識が高い会社が多かったです。社員の健康管理はそのまま安全運行に直結していることを念頭に、会社トップから管理者及び運転士一人一人に至るまで全社一丸で取り組んでいることがひしひしと感じられました。



金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

全国安全週間・全国労働衛生週間の表彰

安全衛生活動自主点検と事業場訪問指導で確認された安全衛生管理の優良事業場を金沢労働基準協会会長賞、石川県労働基準協会連合会の会長賞に推薦しています。

令和5年安全週間受賞者	令和6年安全週間受賞者	令和5年衛生週間受賞者	令和6年衛生週間受賞者
ツダコマ・ゼネラル・サービス株式会社	北鉄白山バス株式会社	医療法人明仁会かないわ病院	アール・ビー・コントロールズ(株)金石工場
ツダコマテクノサポート株式会社	株式会社大和 香林坊店	北鉄白山バス株式会社	株式会社コントラック
株式会社大晃重設	株式会社みづほ室内工業	丸文通商株式会社	津田駒工業株式会社 松任工場
辰巳建設株式会社	有限会社谷口鋳金工業	株式会社大和 香林坊店	サンユー精密株式会社
株式会社大和印刷社	株式会社レンタコム・エイシー	アール・ビー・コントロールズ株式会社 鶴来工場	北陸環境衛生株式会社
株式会社 中村ポンプ	株式会社旭ウエルテック	株式会社東陽技研	北陸電力株式会社手取水力センター
有限会社赤井鉄工	株式会社イコマ・メカニカル		
株式会社みはま産業	株式会社ムラオ		
絹川工業株式会社	有限会社ヨシダ木工		
株式会社勝泉建築板金工業			
田中昭文堂印刷株式会社			
朝日エティック株式会社北陸支店			

昭和28年以降の年別受賞者数（全国安全週間表彰及び全国労働衛生週間表彰）

昭和時代	年	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	数	10	8	19	17	13	20	11	1				6	7	18	19	18	34	25
平成時代	年	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	数	17	14	13	13	14	11	11	1	2	2	2		3	3	7	8	6	5
令和時代	年	元	2	3	4	5	6												
	数	15	0	11	23	29	23												
														総計 981名 (社.人)					
														昭和 517名 (社.人)					
														平成 363名 (社.人)					
														令和 101名 (社.人)					

近年の安全衛生優良団体賞受賞団体

- | | | | |
|-------|-----------------------------|-------|----------------------|
| 平成20年 | 荏原商事(株)北陸地区安全衛生協会の | 平成21年 | 酒井工業(株)労務安全協議会 |
| 平成24年 | DIC 北陸工場協力会社安全連絡会 | 平成24年 | アレンジ・グレートグループ安全衛生委員会 |
| 平成25年 | ワイズグループ安全衛生委員会 | 平成28年 | 米澤電気工事(株)協力会 |
| 平成29年 | 豊倉組労災互助会 | 平成30年 | 第一電気工業協力会 |
| 令和4年 | 北陸電工安全衛生協議会金沢支部 | 令和5年 | 清水建設北陸支店取引業者災害防止協議会 |
| 令和6年 | 中日本ハイウェイメンテナンス北陸株式会社安全衛生推進会 | | |



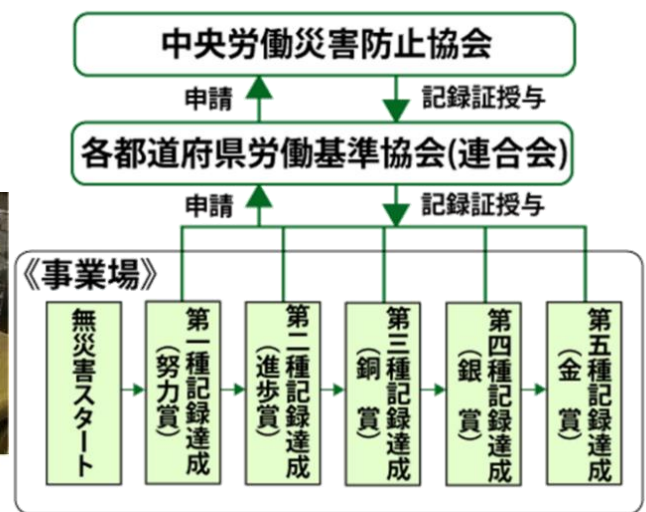
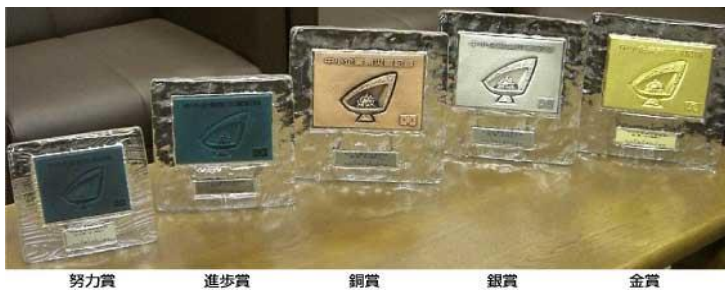
金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

中災防の中小企業無災害記録証授与制度の活用

表彰の対象となる事業場は、資本の額又は出資の額の総額が1億円以下又は常時使用される労働者数が300人以下の中小企業であり、労働者が10人以上100人未満の事業場です。

記録の申請の仕方は、 (Excel) 無災害記録を記載した申請書を作成し、各都道府県労働基準協会を経て申請します。現在達成している最上位の種別の記録証について申請するものとします。過去にさかのぼって複数の種別の申請をすることはできません(例:3種の申請の際に1種や2種も申請するなど)。

記録証の授与 申請内容が規程に合致した事業場には、**中小企業無災害記録証と副賞(表彰楯)**が授与されます。



受賞事業場一覧

受賞事業場名	授与年月	達成記録	受賞事業場名	授与年月	達成記録
かがつう(株) 金沢工場	R2年11月	第一種 800 日	(株)金太 旭丘鉄鋼基地	R3年9月	第一種 1500 日
サンコー企画(株)	R3年10月	第一種 1000 日	(株)キョー・エイ	R3年12月	第一種 1100 日
太谷(株)	R3年12月	第二種 3000 日	河北郡衛生(株)	R3年12月	第二種 2200 日
金沢総合花き(株)	R3年12月	第四種 6750 日	ユーエスカートン(株)	R4年 1 月	第三種 3000 日
(株)環境公害研究センター	R4年 1 月	第二種 2200 日	暁化学工業(株)	R4年3月	第三種 1500 日
(株)タニムラ	R4年5月	第三種 1950 日	北陸エコー販売(株)	R4年5月	第三種 4500 日
中川製紙(株)	R4年9月	第一種 550 日	(株)レンタコム・エイシー	R4年 12 月	第一種 1500 日
ツダコマ・ゼネラル・サービス(株)	R4年 12 月	第三種 1,500 日	ツダコマテクノサポート(株)	R4年 12 月	第三種 3,450 日
(株)大晃重設	R5年 1 月	第一種 1500 日	かがつう(株) 金沢工場	R5年 2 月	第一種 800 日
辰巳建設(株)	R5年 2 月	第三種 3300 日	(株)大和印刷社	R5年 2 月	第二種 2000 日
オカダ合金(株)	R5年 2 月	第一種 800 日	株式会社 中村ポンプ	R5年 2 月	第一種 800 日
田中昭栄堂印刷(株)	R5年 9 月	第五種 5100 日	北鉄白山バス(株)	R5年 10 月	第五種 3750 日
(株)東陽技研	R5年 12 月	第五種 4750 日	(株)みづほ室内工業	R6年 1 月	第二種 2200 日
(株)旭ウエルテック	R6年 2 月	第一種 500 日	(有)谷口鋳金工業	R6年3月	第二種 1400 日
(株)イコマ・メカニカル	R6年5月	第二種 1000 日	(株)JR西日本新幹線テクノス白山事業部	R6年 6 月	第三種 2250 日
サンユー精密株式会社	R4年8月	第五種 3500 日	北陸環境衛生株式会社	R6年2月	第五種 6450 日
北陸エコー販売(株)	R4年9月	第四種 6750 日			



金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

安全衛生出前講座 「安全専一百年の軌跡」

「安全専一百年の軌跡」安全衛生自主活動の意味を産業発展 100 年の歴史から説明します。

産業安全衛生運動百年の軌跡
古河鉄業の足尾鉄業所に掲げられた安全専一の標語

安全+第一
Safety Firstの方針が実行されると、労働災害はたちまち減少した。品質・生産も向上した。このSafety First「安全専一」という標語は、米國鉄鋼産業をあげての一大運動へ発展し、アメリカ全土に広まった。

ハイน์リッヒ「129:300の原則」
1929年 アメリカ

産業安全運動百年の軌跡
運動進展と停滞の時代（昭和戦前）

安全衛生出前講座
会場
令和 年 月
(一社)金沢労働基準協会

安全第一の掛け声から始まった「労働災害防止自主活動の百年の歴史」を説明します。安全衛生の先達は、「指差称呼」、「整理整頓」、「ヒヤリハット」、「危険予知活動KYT」など創意工夫で労働災害の防止活動に取り組み、災害の減少を実現してきました。

産業安全活動の進展 1970年代 危険予知訓練KYT活動
1973年、除米安全衛生視察団住友金属工業和歌山製鉄所の労務部長はベルギーのソルベイ社の交通安全教育シートに目をとめる。危険を自らが危険と感じることにより、各自安全行動に努めるようにすると考え、社内にプロジェクトチームを結成その成果としてKYTが誕生。

産業安全運動百年の軌跡 1970年代 4S(整理・整頓・清掃・清書)運動
昭和30年代に「ジャスト・イン・タイム」稼働中にきて出でたらしい。日本能率協会の新橋重夫先生がトヨタを指導したころに使われたらしい。昔からの「整理・整頓」という言葉に清掃を加え、「3S」となり、70年代には、清潔を加えて4Sと呼んたらしい。

産業安全運動百年の軌跡 1970年代 ゼロ災害全員参加運動
1973年にゼロ災害全員参加運動(ゼロ災運動)は、中央労働災害防止協会が、アメリカの全米安全評議会(NSC)のZero in on safety(安全に照準を合わせる)というキャンペーンの考え方を取り入れ、スタートしました。

Safety 2.0時代の現場
(注)が可能とした本質制御による高度な列挙制御

金沢労働基準協会 安全衛生出前講座 「産業安全衛生活動百年の軌跡」
産業安全衛生運動百年は、ほんとかしひびきを繰り返してきた歴史です。安全専一を再認識しよう

金沢労働基準協会では、事業場の安全衛生活動についてより理解を深めていただくため、「労働災害防止活動の百年の歴史」を説明する「安全衛生出前講座」を始めることにしました。

これまでの利用団体

開催日時	講演内容	開催団体	開催場所
令和2年 10月23日	産業安全衛生百年の軌跡	北陸電気工事(株) 北陸電工安全衛生協議会金沢支部 2020年度事業主研修会事業主研修	KKRホテル金沢 金沢市大手町2-32
令和3年 10月8日	産業安全衛生百年の軌跡	安全部会衛生部会委員 安衛週間支援団体協力員合同研修会	石川県地場産業振興センター本館 金沢市鞍月2丁目1
令和3年 10月22日	産業安全衛生百年の軌跡	中日本ハイウェイメンテナンス北陸(株)2021 北陸地区高速道路防災協議会総会	石川県いしかわ総合スポーツセンター 石川県金沢市稚日野町北222
令和3年 10月14日	産業安全衛生百年の軌跡	セコム(株)テクノ事業本部北陸支店 2021年度安全衛生大会	セコム北陸金沢ビル 金沢市北安江2丁目15-10
令和4年 1月18日	産業安全衛生百年の軌跡	第一電機工業(株)安全協力会 事業主並びに現場代理人・職長研修会	金沢市異業種研修会館 金沢市打木町東1400
令和4年 6月21日	産業安全衛生百年の軌跡	大三建設(株) 全国安全週間行事 社員教育	大三建設(株) 金沢市三口町火250番地
令和5年 10月13日	第14次労働災害防止計画	セコム(株)テクノ事業本部北陸支店 2023年度安全衛生大会	セコム北陸金沢ビル 金沢市北安江2丁目15-10
令和5年 11月27日	産業安全衛生百年の軌跡	関西北陸しろあり対策協会 2023年度研修会安全大会	金沢勤労者プラザ 金沢市北安江3丁目2-20

一般社団法人
金沢労働基準協会

FAX076-224-2554 TEL 076-232-2976

〒920-0031 石川県金沢市広岡2丁目13番23号 AGSビル301号

営業時間 9:00~17:00 定休日 土曜・日曜・祝日

一般社団法人金沢労働基準協会は、労働保険事務組合や各種講習を通じて職場の環境づくりを応援します。



金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

安全衛生業務担当者への情報と学習機会の提供

- 新規安全衛生業務担当者研修として「安全衛生推進者養成講習」の受講勧奨
安全衛生業務担当者が、安全衛生法令の基礎知識を学ぶ講習会として、「安全衛生推進者養成講習」を推奨しています。テキストも講義内容も全般的な安全衛生を学ぶ機会として最適。

実施年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
安全衛生 推進者受 講者数	1回 99 名	1回 78 名	1回 80 名	1回 78 名	1回 95 名	1回 98 名	1回 88 名	1回 98 名	1回 98 名	2回 126 名	2回 109 名	2回 122 名	3回 88 名	3回 79 名	2回 89 名
衛生推進 者受講者 数	1回 90 名	1回 53 名	1回 99 名	2回 132 名	2回 109 名	2回 147 名	2回 110 名	2回 134 名	2回 153 名	2回 123 名	2回 110 名	2回 126 名	2回 114 名	2回 49 名	2回 83 名

- 安全衛生業務担当者業務研修 令和3年5月18日石川県地場産業振興センター受講者6名

金沢地区の労働災害等の安全衛生情報の提供

- イ) 「労働災害の現況」(金沢署管内の労働災害集計分析) 令和2年から毎年各年の金沢地区労働災害の集計「労働災害の現況」をリーフレット配布
- ロ) 「安全衛生壁新聞」
 - 令和4年度全国安全週間向け「転倒災害防止」特集
 - 令和4年度全国労働衛生週間向け「定期健康診断と健康職場率」特集
 - 令和5年度全国安全週間向け「四つのないか運動」特集
 - 令和5年度全国労働衛生週間向け「二次健康診断受けよう運動」特集
 - 令和6年度全国労働衛生週間向け「やろまいか救護訓練運動」特集
- ハ) 「定期健康診断結果集計」(金沢署管内の定期健康診断結果報告の集計) 令和3年以降毎年メタボ有所見者と健康職場率特集 安全衛生壁新聞(令和5年5月号)
- ニ) 「死亡災害発生状況の分析」 安全衛生壁新聞(令和6年5月号)
第13次労働災害防止計画終了、過去20年間の死亡災害発生状況の集計分析
- ホ) 「北陸三県の労働災害発生状況の推移」(石川、富山、福井の労働災害集計)
平成20年から令和5年までの石川県、富山県、福井県の労働災害発生件数の年別推移

一般社団法人

金沢労働基準協会

FAX076-224-2554

TEL 076-232-2976

〒920-0031 石川県金沢市広岡2丁目13番23号 AGSビル301号

営業時間 9:00~17:00 定休日 土曜・日曜・祝日

一般社団法人金沢労働基準協会は、労働保険事務組合や各種講習を通じて職場の環境づくりを応援します。



金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

金沢労働基準監督署との共催研修事業

基本的な実施方法

講師は、金沢労働基準監督署から派遣の担当官、テキストは、金沢労働基準監督署から提供
受講料は、無料 会場は、金沢労働基準協会が用意
受講者募集は、会員へは協会が開催案内通知、非会員にはホームページで公募
講習内容は、各講習会で配布する受講者アンケートで希望の多い労務安全衛生実務

1. 労務管理担当者研修事業

- 「労働基準法実務基礎研修」 令和6年5月14日(火)13:30～15:45
毎年4月～5月開催 石川県地場産業振興センター
テキストは、金沢労働基準監督署から提供の「労働基準法のポイント」
質疑応答集、講習満足度アンケート、次回講習内容の希望アンケート
- 「就業規則の作り方変え方説明会」 令和5年8月3日(木)13:30～15:45
前回アンケートで希望の多かった講習 石川県地場産業振興センター
テキストは、金沢労働基準監督署から提供の「就業規則のポイント」、「モデル就業規則(抄)」
質疑応答集、講習満足度アンケート、次回講習内容の希望アンケート
- 「労働保険実務基礎研修」 令和6年11月27日(水)
前回アンケートで希望の多かった講習 石川県地場産業振興センター
テキストは、厚生労働省の各種労働保険パンフレットとパワーポイント資料
質疑応答集、講習満足度アンケート、次回講習内容の希望アンケート

2. 安全衛生担当者研修事業

- 「令和4年度改正法令説明会」 令和5年2月21日(火)13:30～15:45
「令和5年度改正法令説明会」 令和6年2月20日(火)13:30～15:45
「令和6年度改正法令説明会」 令和7年2月20日(木)13:30～15:45
毎年2月に開催 石川県地場産業振興センター
テキストは、金沢労働基準監督署から提供の各種改正リーフレット
- 「第14次労働災害防止計画説明会」 令和5年11月8日(水)13:30～15:45
前回アンケートで希望の多かった講習 石川県地場産業振興センター
テキストは、金沢労働基準監督署から提供の各種改正リーフレット



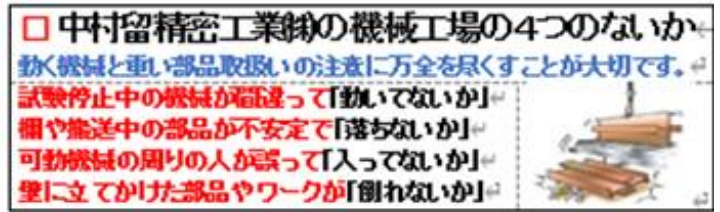
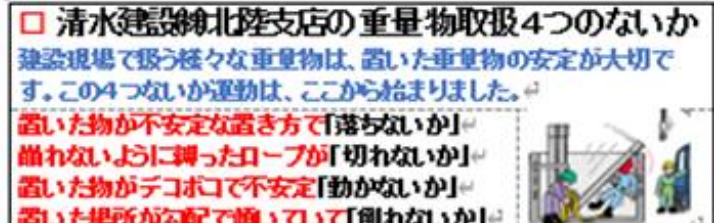
金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

金沢地区の自主的安全衛生活動労働防止運動の展開

「4つのないか運動」

金沢地区の死亡労働災害の集計分析を行いました。その結果、会社で決めたリスク低減策が現場で実施されていない残留リスクの事故があり、災害防止対策を現場で作業員が作業前に確認する手法として「4つのないか運動」を推進しています。

これらの作業方法も作業環境も各社各様であり、各社が取り組んでいる災害防止対策も各社各様であることから、リスクアセスメントの結果、取り組むリスク低減策を作業前に確認する手法として「4つのないか運動」も各社各様に展開するよう運動しています。



中村留精密工業(株)の機械工場の4つのないか

リスク	リスク低減策	残留リスク	4つのないか
試験運転中の機械に挟まれる巻き込まれる	試験運転中の機械に稼働中は立入禁止ロープを張る	機械を停止させた作業員がロープを戻さず試験運転を始める	現状で立入るとき 動いてないか
棚に置いた荷や搬送中の荷が崩れてくる	崩れないように荷を正しく積み、荷掛けロープで縛る	作業を急いで積み方が悪いまま落下防止していない	現状で荷が 落ちないか
試験運転中の機械に挟まれる巻き込まれる	試験運転中の機械に稼働中は立入禁止ロープを張る	試験中に他の作業員の立入りを知らずに機械を始動させる	動かしても人が 入っていないか
壁に立てかけただけの部品やワークが倒れてくる	安全な場所以外で部品やワークを壁に立てかけない	作業手順が悪く倒れ止めせず、部品やワークを立てかける	立てかけた荷が 倒れないか

組立作業で機械内部に立ち入るとき、**機械が動いていないか**確認します。
 仮置き積み上げた**荷が崩れてこないか**確認します。
 組立作業中の機械を始動させるときに**内部に人がいないか**確認します。
 壁に立てかけた**部品やワークが倒れてこないか**確認します。

4つのないかを現場に掲示します。



金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

金沢地区の自主的安全衛生活動労働防止運動の展開

「二次健康診断受けよう運動」

定期健康診断の有所見率は、金沢地区平均で 55.5%です。この健康診断の異常所見から再検査や要精密検査の診断には、ちゃんとその検査を受けること、それを会社が支援することが大切です。

労災保険の災害予防のための国の事業である二次健康診断等給付（メタボ健診）をもっと活用して、健康職場を実現しようという運動を令和5年から始めました。

金沢労働基準協会 ゼロ災プロジェクト 令和6年
健康診断の2次健診・精密検査受けよう運動

定期健康診断の有所見率は、金沢地区平均で 55.5%です。この健康診断の異常所見から再検査や要精密検査の診断には、ちゃんとその検査を受けること、それを会社が支援することが大切です。

労災保険の災害予防のための国の事業である二次健康診断等給付（メタボ健診）をもっと活用して、健康職場を実現しようという運動を令和5年から始めました。

二次健康診断等給付の活用促進

- ① 二次健康診断の給付 1,200円
- ② 精密検査の給付 1,000円
- ③ 再検査の給付 1,000円
- ④ その他の検査の給付 1,000円

二次健康診断等給付の活用促進

- ① 二次健康診断の給付 1,200円
- ② 精密検査の給付 1,000円
- ③ 再検査の給付 1,000円
- ④ その他の検査の給付 1,000円

二次健康診断等給付の活用促進

- ① 二次健康診断の給付 1,200円
- ② 精密検査の給付 1,000円
- ③ 再検査の給付 1,000円
- ④ その他の検査の給付 1,000円

安全衛生壁新聞 令和6年

職場でもいざというときのために 応急手当の知識と技術を身につける 救護訓練を行っていきましょう

職場の事故や病中などで心停止になった人を救うには、応急手当が到着するまでの間に、そばに居合わせた関係者が適切な応急手当を行うことが重要です。

応急手当の重要性

- 心停止の発生
- 応急手当の重要性
- 応急手当の種類
- 応急手当の場所

応急手当を行うには？ 講習会に参加して応急手当の技術を習得

講習会に参加して、応急手当の知識と技術を身につけることが重要です。講習会では、応急手当の重要性、応急手当の種類、応急手当の場所について学びます。

心肺蘇生法＞突然人が倒れたら 119番通報

- 周囲の安全を確認する。
- 傷病者に近づき、反応（意識）を確認する。
- 傷病者に反応がなければ、大声で助けを呼ぶ。
- 119番通報及びAEDを現場に連れてもらうよう協力を求める。
- 呼吸を確認する。
- 胸骨圧迫を30回。
- 人工呼吸を2回。
- 胸骨圧迫を30回。

AEDの基本的な使い方＞

- 電源を入れる。
- パッドを貼る。
- コネクターを指定された場所に差し込む。
- 電源ボタンを押す。

出典：救護情報センター（<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/200401/1.htm>）

石川県内の労災保険二次健康診断給付の受給者は、令和5年は1439名でした。給付請求は労働環境改善課が労災保険加入事業場であれば、一次健康診断の結果、①血圧検査 ②血中脂質検査 ③血糖検査 ④尿蛋白検査または⑤尿（尿糖）の測定をすべての検査項目について、「異常の所見」があると診断されたときは二次健康診断等給付を受けることができます。

「やろまいか救護訓練運動」

また、職場に多くなった有所見者が仕事に意識を失い倒れるということがいつでもありうるようになってきました。

でも、職場の人がAEDを使って適切な救護を行い医療機関につなげることが大事になってきました。

全国安全週間の実施事項に非常災害に備えた避難訓練があり、当協会のアンケートでの避難訓練の実施率は48.2%です。

全国労働衛生週間の実施事項に非常災害に備えた救護訓練があり、当協会のアンケートでの救護訓練の実施率は14.3%です。この職場での救護訓練実施率を引き上げて、万が一の救急自体に対応できる健康職場を実現しようという運動を令和6年から始めました。



金沢労働基準協会 令和ゼロ災プロジェクト

金沢労働基準協会会員募集と事業支援のお願い

事業者 殿

〒920-0031 金沢市広岡 2-13-23 A G Sビル 3階

TEL 232-2976 FAX 224-2554

一般社団法人 金沢労働基準協会

会長 米澤卓也

一般社団法人金沢労働基準協会加入と支援のお願いについて

一般社団法人金沢労働基準協会は、金沢労働基準監督署管内(金沢市、白山市、野々市市、かほく市、河北郡)の労働者を使用する事業者を会員として、金沢労働基準監督署と常時密接な連携を保ちつつ、労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法など労働関係法令の周知啓蒙その他労働条件の維持向上を図るための諸事業を行い、もって地域の労働者の福祉を増進し、産業の発展に寄与することを目的としています。

当協会は、令和時代となり、これまで達成できなかったことのない金沢地区における死亡労働災害ゼロを目指す、「令和ゼロ災プロジェクト」の事業と金沢労働基準監督署と共催で労働法令周知の研修事業をはじめました。

これらは、公益事業として会員企業の支援で行っている事業ですが、会員企業は年々減少を続けており、新たな会員企業による事業継続のための支援協力が不可欠となってまいりました。

つきましては、何卒この趣旨にご賛同下さいまして当協会に加入して支援いただくことをお願いする次第です。(加入につきましては、◇金沢労働基準協会への加入手続き参照)

◇ 一般社団法人金沢労働基準協会の事業概要

- (1) 労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など労働関係法令の周知啓もう事業
- (2) 安全衛生推進者、衛生推進者の養成講習など法令資格講習の開催事業
- (3) 労働保険事務組合事業と建設業一人親方の労災保険特別加入制度事業
- (4) 労働安全・衛生に関する管理優良事業場並びに個人功労者の表彰事業

◇ 令和ゼロ災プロジェクト事業

◇ 金沢労働基準監督署との共催研修事業

◇ 金沢労働基準協会への加入手続きについて

次の加入申込書を提出していただき、年会費をお支払いください。

理事会の承認を経て会員となりますが、会誌の送付などは入会申込会費納入後から開始します。年会費は5月1日から翌年4月30日の事業年度に対するお支払ですので、この年度内の退会には返金しかねます。

◇ 会費(年額)基準表

会費は原則として会員事業所の従業員数に応じ年額下表によりますが、中小企業団体の一括団体加入の場合は別個相談に応じます。

級別	従業員数	年額会費
1	1~19人	3,000円
2	20~29人	5,500円
3	30~49人	7,000円
4	50~99人	8,000円
5	100~149人	13,000円
6	150~199人	16,000円
7	200~299人	20,000円
8	300~399人	23,000円
9	400~499人	29,000円
10	500~699人	33,000円
11	700~999人	36,000円
12	1,000~1,099人	39,000円
13	1,100~1,499人	65,000円
1,500人以上の場合、100人増す毎		に5,000円を加算する